



南部新

桐校同載

小夜中山之

歌記

須磨浦台記 全

一谷歌記不殘

ノ四不

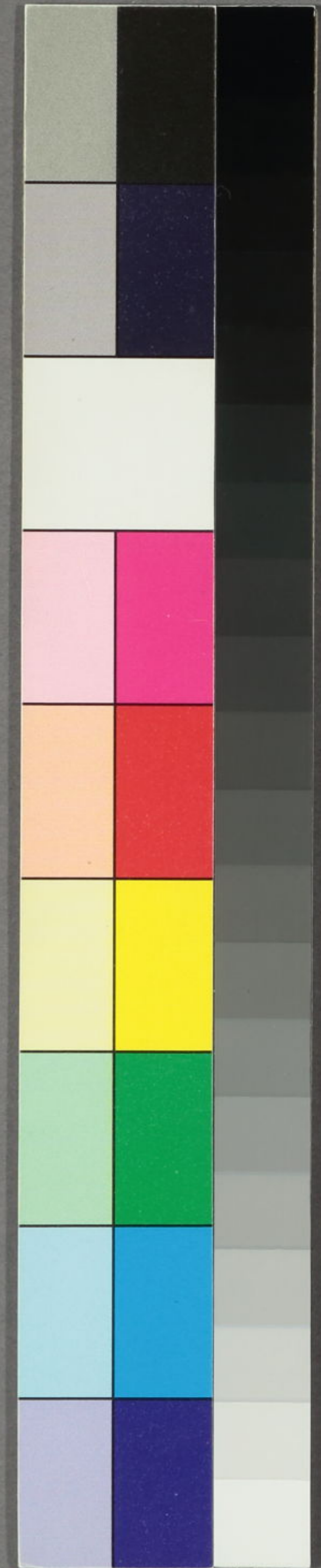
文之三卷

二月音

北田為村

栗原氏定調之

特別  
ル 3  
3617  
96



信勢国守

直浦年活

信勢太神宮年活

金足羅大程院年活

南林春日太神年活

七葉高野山年活

大石天皇寺年活

日町法城寺年活

信勢惣寺年活

寺前石堂寺年活

日法城寺年活

信勢寺年活

直江寺年活

信勢寺年活

白雲寺年活

棒山寺年活

相山寺年活

因利寺年活

# 日弁六人

信勢寺年活  
平野寺年活  
相山寺年活  
因利寺年活

大石天皇寺年活  
日町法城寺年活  
信勢惣寺年活  
寺前石堂寺年活  
日法城寺年活

白雲寺年活  
棒山寺年活  
相山寺年活  
因利寺年活

夫次慶浦と月の名所とて名もよく知られ古せん場乃名  
四方よきと人より源氏の巻くもとありありと出初し中  
より平光源氏敦盛かとのまゝせられたる案内乃と先  
らゝまゝいゝれ方より一々書付侍る。

## ○行平月見松

行平中絶言三つせのちとりの月見れなまありい  
月又の松とていふと山も又里と穉家系兼師堂有  
り平松へは歸りの所かゝれ不しくもなむとけ  
並たまひ一きぬうけ中川 漢あり

## ○行平きぬけ松

司まゝふとふ人らゝん次平の浦より月見れわやとよ  
ありきぬけ浦のみまありゆゝに平やらまのいふ思人  
光源氏

## ○磯別松

ととくすはの根もこの松といふ

次平の浦や洪とてととと松とて浪のそと日とて  
俊頼







○泉の井 石塔の上は墓あり

○熊谷平山

二三のうけと争ひしは播州地蔵村のまうりえある  
生田川を大手とて西の宮より次々しての古縁ハ敷きおれ  
とゆきな名宗記とてゆきそとてけせは是ハけす由の浦乃  
多色の勝せしる城考つる人のあふ記しあり

延享三寅年正月開板

嘉永二酉年三月再版

播州須磨浦一谷角

産亀堂藏板

改磨の浦より東西道のり

一	西宮	七	り
一	大坂	十二	り
一	京師	二十	り
一	奈良	二十	り
一	いせ	五十	り
一	江戸	百四十	り

一	昭石	三	り
一	長池	六	り
一	加古川	八	り
一	姫路	十二	り
一	徳島	廿	里
一	月ヶ岳	三十八	り
一	養父	七十	り
一	出雲	七十三	り
一	九州	百七十	り

昭華妙國寺我子之贊  
曰信吾命并 年活  
右任天下奉念 贊之  
圓到危一乘多活句  
曰 危之松年活句  
尊祥和天神多活  
不長長及天已尊壽  
如路行城初見夫

危信行城初見  
得身年以天全壽  
德回以神多活  
信能行多壽壽  
圓到危一乘多活  
務信行多壽壽  
曰人王王行多活  
義事一松多活壽  
標行西天太妙壽